

音楽の美しさを聴き取ろう 感じ取ろう そして伝え合おう

—鑑賞活動において生徒が主体的にとりくむための指導の工夫—

1. 設定理由

児童生徒が音楽の美しさを「聴き取り 感じとる」ためには、まず、児童生徒自身が多様な音楽を鑑賞し、その豊かさや美しさを味わうことが大切だと考える。幅広く多様な音楽を鑑賞し、理解を深めることが、生徒が主体的に鑑賞する姿勢を育てることにつながるであろう、と考え、本主題を設定した。鑑賞活動と表現活動の連携を図りながら鑑賞の能力を伸ばし、音楽に対する感性を高めることが、表現して伝えていく活動への意欲にもつながるであろう。

2. 研究仮説

- ①鑑賞指導において、日本の伝統的な音楽について体験活動を含む様々な授業展開を工夫することで、生徒がより主体的に音楽活動にとりくむことができるであろう。
- ②小中学校の鑑賞教材の系統性を見通して発達の段階に応じた指導をすることで、児童生徒が音楽のよさや美しさを一層深く味わって聴くことができるであろう。

3. 研究内容

- ①歌舞伎「勘進帳」について、長唄や囃子等の体験活動を取り入れたアプローチを行う授業展開の工夫。
- ②小中学校の鑑賞教材の系統性がわかる学習マップの作成

4. 結 論

- DVDやCDを活用しながら長唄をグループで練習したり、打楽器で小鼓と大鼓の特徴的なリズムを演奏したりする体験活動を取り入れたことで、生徒は歌舞伎に対して親しみをもち、鑑賞するときに音楽の特徴やその特質を深く味わいながら聴くことができた。
- 小中学校鑑賞教材系統図をつくるために、市内小中学校の音楽科教員が合同で鑑賞教材のねらいや関連性を話し合ったり考えたりする中で、互いの校種で行っている指導について、ねらいの相違点や指導内容についての共通理解を持つことができた。

印旛支部

四街道市立四街道中学校

石井 幸子

四街道市立旭中学校

川勝 典子

1 研究主題

音楽の美しさを聴き取ろう 感じ取ろう そして伝え合おう
ー鑑賞活動において生徒が主体的にとりくむための指導の工夫ー

2 主題設定の理由

(1) 学習指導要領とのかかわり

印旛地区教育研究会音楽研究部の研究主題「音楽の美しさを聴き取ろう 感じ取ろう そして伝え合おう」を受け、児童生徒が音楽の美しさを「聴き取り、感じ取る」ためには、まず、児童生徒自身が多様な音楽を鑑賞し、その豊かさや美しさを味わうことが大切だと考える。

幅広く多様な音楽を鑑賞し、理解を深めることで、生徒が主体的に鑑賞する姿勢を育てることにつながるであろう、と考える。そこで、鑑賞活動に生徒が主体的に取り組むための指導の工夫を授業実践を通して行うことにした。鑑賞活動と表現活動の連携を図りながら鑑賞の能力を伸ばし、音楽に対する感性を高めることが、表現して伝えていく活動への意欲にもつながるであろう。

音楽科の教科の目標は「表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。」と示されている。

音楽の多様性を理解して鑑賞する能力を高めていくことで、音楽文化の価値を見い出し、音楽を尊重する態度を育てることにつながるであろう。

(2) 生徒の実態から

今回の研究にあたり生徒の実態を把握するため、市内中学校で同じアンケートを行った。→資料編 P 1, 2

アンケート結果から生徒たちは予想どおり、普段はJポップ等のポップス系の音楽に親しんでいることがわかった。「鑑賞してみたい曲」の問いで、圧倒的にオーケストラの回答が多いのは、学習経験の違いであるのではないだろうか。また、少数ではあるが、「古い日本の曲」「日本の歌」「日本の楽器」と記入している生徒もあり、日本の音楽に興味を持っている者もいることがわかる。今回、伝統的な音楽について様々なアプローチを工夫し、取り組むことは価値のある研究であると考ええる。

3 研究仮説

【仮説1】

鑑賞指導において、日本の伝統的な音楽について体験活動を含む様々な授業展開を工夫することで、生徒がより主体的に音楽活動にとりくむことができるであろう。

【仮説2】

小中学校の鑑賞教材の系統性を見通して発達の段階に応じた指導をすることで、児童生徒が音楽のよさや美しさを一層深く味わって聴くことができるであろう。

4 仮説について

【仮説1について】

音楽の多様性を感じさせるために、日本の伝統的な音楽、特に歌舞伎「勧進帳」について、長唄、お囃子、唱歌など様々な体験活動を取り入れ、アプローチを工夫することにより、生徒の興味を引きだしたい。そのことで、自らの音楽に対する価値意識を広げ、音楽文化の豊かさに気づき、尊重することにつながっていくであろう。

【目指す生徒像】

日本の伝統音楽に興味・関心をもち、音楽のよさや美しさがわかる生徒

〔手立て〕

「歌舞伎」の体験

- ①長唄「雨の四季」・・・飴売りの口上の長唄
- ②長唄「勸進帳」・・・長唄のグループ学習
- ③「勸進帳」「寄せの合方」の楽器の唱歌
- ④大鼓・小鼓の唱歌と打楽器

【仮説2について】

中学校の鑑賞教材として扱われる楽曲には、ベートーベンの「交響曲第5番」のように小学校でも扱われている楽曲がある。また、小学校での鑑賞の学習の積み重ねの上に、関連している楽曲もある。そこで、義務教育9年間を一体的に捉え、題材や教材の関連性を整理してみることにした。生徒の鑑賞の能力をどのように伸ばしていくか、という系統性を見通して指導することで、児童生徒の感性を刺激し、音楽のよさや美しさをより深く味わう力を育成したい。

〔目指す生徒像〕

多様な音楽のよさや美しさを深く味わって聴くことができる児童生徒

〔手立て〕

- ① 小中学校の鑑賞教材の系統性がわかる学習マップの作成
- ② 歌舞伎「勸進帳」に関する鑑賞教材の系統性の整理

6 指導の実態

【仮説1 手立て①】「雨の四季」授業実践

四街道市立四街道西中学校 指導者 川勝典子

- 1 題材名 長唄の歌唱や鑑賞を通して、日本の伝統音楽に親しもう〔2時間扱い〕
教材名 長唄「雨の四季」 池田弥三郎 作詞・山田抄太郎～飴売り
長唄「勸進帳」 三世 三木五瓶 作詞 四世 杵屋六三郎 作曲
歌舞伎「勸進帳」(鑑賞)

2 題材の目標

- ・長唄の特徴を物語や演出などに関連づけて理解し、歌舞伎音楽のよさを味わって聴く。

3 指導と評価の計画（2時間扱い）

時	◎ねらい ○学習内容 ・学習活動 ☆〔共通事項〕	・教師の働きかけ ◇評価規準 【評価方法】
	長唄の声の音色、特徴を知覚、感受し、主体的に長唄を体験し、歌舞伎に親しむ。	
1	○身近なところで、特徴のある声の出し方が聞かれるのは、どんな時のどんな声かを確認する。 ・「石焼き芋」の売り声を実際にやってみる。 ○長唄「雨の四季」の飴売りの口上を、長唄の特徴をつかみ唄う。 ・DVDで「雨の四季」を視聴し、特徴を発表する。 ①声について ②唄い方 ③リズム ④その他 ○長唄「雨の四季」の「飴売りの口上」を学習する。 ・楽譜に書いてある記号「点線、○、△、しずくマーク等」の意味を理解する。 ・フレーズ、無声音、ブレスを確認して、歌詞	・石焼き芋を提示する。 ・どんな売り声だと買いたくなるかを考え、売り声の特徴を知覚し、感じとる。 ・聴く観点を提示し、どんな特徴的な唄い方かを、生徒の意見から引き出す。 ◇（鑑）長唄の声の音色、節回しを知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じている。【観察・ワークシート】 ・フレーズ、無声音、ブレスを確認

	を読む練習をする。 ・長唄にふさわしい音色、節回しを意識しながら教師の後に続き唄う。 ・6人ずつのグループに分かれ特徴を意識しながら唄う練習を行う。 ・長唄にふさわしい声の出し方、言葉の発音や抑揚を捉えて唄い、特徴を生かしながら唄えるグループが発表する。 ☆【音色・旋律】 長唄にふさわしい声の出し方、言葉の発音や抑揚などを捉えて唄っている。	して歌詞を読む練習をする。 ・長唄にふさわしい音色、節回しを意識しながら唄う。 ・特に表現したいポイントを確認し、そこを中心に唄う。 ・DVDやCDを練習しやすいように設置する。 ◇（関）長唄にふさわしい声や言葉の特性に関心をもち、それらを生かして唄う学習に主体的にとりくもうとしている。【観察・ワークシート】
	◎長唄の特徴に関心をもつとともに、歌舞伎について知り、主体的に鑑賞する。	
2	○長唄「雨の四季」の飴売りの口上の復習をする。 ・長唄の発声や言葉の特性を感じ取りながら唄う。 ○長唄「勸進帳」を聴き、雰囲気と音楽的な特徴との関わりに関心をもつ。 ・長唄の雰囲気と音楽的な特徴について、音色、節回しを意識して聴き、ワークシートにまとめる。 ○歌舞伎の歴史、使われる楽器、舞台の工夫、歴史的背景と、「勸進帳」の物語の流れを知る。 ・歌舞伎のダイジェスト版のDVDを視聴して、大まかな歌舞伎についての背景を知る。（歴史・楽器・舞台装置・隈取り等）	・長唄にふさわしい声の出し方、言葉の発音や抑揚をとらえている。 ◇長唄の音色、節回し、拍、抑揚を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、長唄の特徴を物語や演出などに関連づけて理解し、歌舞伎音楽のよさを味わって聴いている。【ワークシート】

【仮説1 手立て①の考察】

- ・模範演奏の映像や教師自らの実演を視聴することにより、「長唄」の声の特徴をとらえ、今まで多く慣れ親しんできている音楽との違いに気づくことができた。また、生徒自らが体験しながら発声法や雰囲気の違いを感じ取ることができたことも成果であった。その後の歌舞伎「勸進帳」での長唄の鑑賞も、自分が身をもって体験したことによって、興味深く鑑賞する生徒が多く見られた。

【仮説1 手立て②】長唄「勸進帳」授業実践

四街道市立旭中学校 指導者 佐藤啓子

1. 題材名 日本伝統音楽に親しもう [2時間扱い]
教材名 歌舞伎「勸進帳」(鑑賞) 並木五瓶(3世)作
2. 題材の目標
 - ・歌舞伎「勸進帳」のあらすじを理解し、音楽を形づくっている構造や曲想を捉えながら鑑賞する。
 - ・長唄の特徴に関心を持ち、音色、節回し、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、主体的に長唄を体験し、歌舞伎に親しみをもち、興味深く鑑賞する生徒が多く見られた。

3. 指導と評価の計画（2時間扱い）

時間		◎ねらい ○学習内容・学習活動 【共通事項】	・教師の働きかけ ◇評価規準 【評価方法】
第一 次	1	◎歌舞伎「勅進帳」の内容を理解し、長唄の特徴に関心を持ち、主体的に鑑賞する。 ○歌舞伎について理解する。 ・知っていることをまとめ、発表する。 ・「歌舞伎とは／舞台のしくみ／歌舞伎の音楽」のDVDを見て理解を深める。 ○勅進帳の内容を理解する。 ・教科書を読み、物語の内容を理解する。 ・「勅進帳」を鑑賞する。 ・長唄の特徴や印象に残った場面を理由とともにまとめる。 〔音色、リズム、旋律、〕 ・ワークシートに長唄の特徴などをまとめる。	・たくさんの生徒が発表しやすい雰囲気を作る。 ・教科書の歌舞伎の説明や「勅進帳」の説明の部分と合わせながら、視聴させる。 ◇（関）歌舞伎や長唄の特徴に関心を持ち、音色、節回しを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、主体的に歌舞伎を鑑賞している。 【行動の観察、ワークシート】 ◇（鑑）長唄の特質や雰囲気を感じ、歌舞伎音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 【行動の観察、ワークシート】
	2	◎長唄の特徴に関心を持ち、音色、節回しを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、主体的に長唄を体験し、歌舞伎に親しみを持つ。 ○長唄の特徴を知る。 ・前時にワークシートにまとめたものを発表する。 ・ベルカント唱法と長唄のビデオを視聴し、唄い方の違いを比較する。 ・発声方法について感じたことをワークシートに記入し、発表する。 ・長唄の詞章を音読し、言葉の意味を知る。 ○長唄にふさわしい声の出し方、言葉の発音や抑揚、身体の使い方などを捉えて唄う。 ・参考演奏を聴く。 ・グループごとにCDを使用しながら、唄い方について話し合い、プリントに記入しながら練習する。 〔音色、リズム、旋律〕 ○グループごとに発表する。 ・ワークシートに感想をまとめる。	・ワークシートに自分の言葉でまとめさせ、発表をもとに長唄にふさわしい声のイメージを共有する。 ・発声の方法の違いを意識して唄うようにする。 ・CDを聴き、繰り返し練習して、長唄の特徴をつかませる。 ◇（関）歌舞伎や長唄の特徴に関心を持ち、進んで体験している。 【行動の観察、ワークシート】

【仮説1手立て②の考察】

- ・活動後、もう一度「勅進帳」を鑑賞した時には、自分の唄った音楽や特徴をより深く感じとって鑑賞したり、歌舞伎の中での表現のすばらしさを深く味わったりする生徒が多く見られた。クラスによって、全員を床に座らせて範唱に続いて生徒に練習する時間をとるなど、学級の実態に合わせて練習形態を工夫することで、長唄の効果的な体験を探ることができた。

【仮説1手立て③】「寄せの合方」の楽器の唱歌 授業実践

四街道市立千代田中学校 指導者 中臺純子

- 1 題材名 日本の舞台芸術に親しもう〔2時間扱い〕
教材名 歌舞伎「勅進帳」(鑑賞)

2 題材の目標

- ・歌舞伎「勅進帳」のあらすじを理解し、音楽を形づくっている構造や曲想を捉えながら鑑賞する。
- ・長唄における唄や楽器の特徴や構成などを唱歌を通して擬似体験し、音楽のよさや美しさを味わう。

3 指導と評価の計画(全2時間)

時間	①ねらい ○学習内容・学習活動〔共通事項〕	・教師の働きかけ ◇評価規準 【評価方法】
第一次	1	◎「勅進帳」の内容を理解し、物語の進行につれて変化する音楽の特徴や音色を感じ取って聴く。 ○歌舞伎「勅進帳」の内容を知る。 ・歌舞伎の構成、長唄の存在を理解する。 ・「勅進帳」の内容を理解する。 ・長唄について理解する。 ○「勅進帳」の流れがわかる映像を視聴する。
第二次	2	◎「勅進帳」<寄せの合方>を口三味線と囃子の唱歌で演奏することで、長唄における音の重なりの特徴を捉え、音楽のよさや美しさを味わう。 ○DVDや楽譜を使って、三味線と囃子に分かれて練習する。 ・グループごとに合わせる練習をする。 ・グループごとに発表する。 ○歌舞伎「勅進帳」の<寄席の合方>の映像を鑑賞する。

【仮説1手立て③の考察】

- ・1年次に三味線の演奏を体験したことがあったので、三味線の唱歌を唄っている時に音色のイメージを持つことができ、囃子の唱歌も自然に受け入れてとりくむことができた。

- ・口三味線や唱歌の体験により、歌舞伎の音楽に親しみを感じながら、その特徴を理解して鑑賞することができた。

【仮説1手立て④】大鼓・小鼓の唱歌と打楽器 授業実践

四街道市立四街道中学校 指導者 石井幸子

- 1 題材名 日本伝統芸能に親しもう〔2時間扱い〕
教材名 歌舞伎「勅進帳」(鑑賞)
- 2 題材の目標
 - ・小鼓と大鼓のリズムの表現活動に進んで取り組み、歌舞伎の舞台の進行と音楽との関わりに興味を持って鑑賞することができる。
- 3 指導と評価の計画(2時間扱い)

時間	◎ねらい ・学習活動	○学習内容 【共通事項】	・教師の働きかけ ◇評価規準 【評価方法】
1	◎小鼓と大鼓のリズムを打楽器で表現することで、囃子の特徴を感じとり、歌舞伎の音楽に対して興味・関心を高めることができる。	○歌舞伎に使われる主な楽器について理解する。 ・LDを視聴し、囃子の楽器の特徴をワークシートに記入する。 ○唱歌やかけ声の役割を感じとりながら小鼓と大鼓のリズムのかけ合いに興味を持つ。〔リズム、速度〕 ・小鼓と大鼓のリズムを唱歌し、グループやペアで打楽器を用いて演奏する。〔拍、間〕	・ワークシートへの記入はメモ程度にさせて集中して視聴させる。 ・唱歌の意味を感じさせるよう、できるだけ唱歌を歌いながら行わせる。 ◇(関) 鼓のリズム打ちをする活動に興味を持ち、すすんで体験しようとしている。 【授業中の観察・発表】
2	◎「勅進帳」の内容を理解し、音楽と舞台との関わりを捉えながら鑑賞する。	○歌舞伎の成り立ちについて学習し、「勅進帳」の内容を理解する。 ・あらすじを確認しながら「勅進帳」を視聴する。 ○舞台の進行における囃子と長唄の音楽の効果を速度、旋律、強弱、間などから感じとる。 ・歌舞伎を鑑賞した感想をワークシートにまとめる。	・ツケの役割や「傾く」演技の様子にも気づかせる。 ◇(関) 歌舞伎の舞台と音楽との関わりに興味を持ち、長唄や囃子の特徴を感じとって聴こうとしている。 【授業中の発言・ワークシートの記述】 ◇(鑑) 「勅進帳」の内容を理解し、音楽の働きに興味を持ち、音楽と舞台との関わりを捉えながら鑑賞している。 【授業中の発言・ワークシートの記述】

【仮説1手立て④の考察】

- ・ウッドブロックやボンゴ、テンブルブロックなどの打楽器を2人に1個ぐらい使用することで、生徒は器楽の楽しさも感じながら、鼓のリズムやかけ声、唱歌を体験することができた。体験後に歌舞伎の音楽を鑑賞するときは自然に鼓のリズムやかけ声に耳が傾き、日本の伝統的な音楽を身近に感じさせることができた。
- ・楽器別の紹介DVDの鑑賞では、音色の特徴を感じとらせることが大切で、音色を擬音語で表すこと等で唱歌の成り立ちにも気づかせることにつながった。

【仮説2手立て①】小中学校鑑賞教材系統図の作成 →資料編P 7

【仮説2手立て①の考察】

鑑賞に関する系統図の作成では、指導内容や共通事項、鑑賞教材のうち、何を中心に
 するのかを検討した結果、鑑賞教材を軸に指導のねらいを付記することにした。この系
 統図の作成により、小中学校で教科書で扱われている鑑賞教材やその関連性を教師が互
 いに理解することができた。今後は小中学校9年間の系統性を考えながら、年間計画の
 中での扱い方を検討していきたい。また、指導内容や共通事項を中心としたものも作成
 したいと考えている。

【仮説2手立て②】「勸進帳」についての小中学校教材の関連性

→資料編P 15

【仮説2手立て②】小学校の実践例

- 1 題材名 日本のリズム
 教材名 おはやしのリズムやせんりつで遊ぼう
 ソーランぶし
- 2 題材の目標
 - ・我が国の音楽のリズムや旋律に親しみ、それらをもとに自分たちの表現を工夫する。
 - ・日本の音楽に親しみ、そのリズムや楽器の特徴を感じ取るとともに、良さに気づく。
- 3 指導と評価の計画（3時間扱い）

時間		◎ねらい ○学習内容 ・学習活動 【共通事項】	・教師の働きかけ ◇評価規準 【評価方法】
第 一 次		◎我が国の音楽のリズムや旋律に親しみ、それらをもとに自分たちの表現を工夫する。	
	1	○おまつりの音楽を聴き、お囃子のリズ ムや楽器の音色に親しむ。 ・お囃子に使われている楽器のリズムや 音色を感じ取りながら聴く。 ・使われている楽器について写真や資料 を見て理解し、演奏するまねをしなが ら聴く。 ○お囃子の太鼓のリズムを工夫して楽し む。 ・教科書にあるリズムをそれぞれ唱え、 手拍子や机を打つなどして練習する。 ・締太鼓、大太鼓の名前や打ち方を理解 して、それぞれのリズムを練習する。 ・大太鼓の①と②のリズムを自由に組み 合わせ、各自練習する。 ・締太鼓のリズムにのって、大太鼓の① と②のリズムを合わせて楽しむ。 ○お囃子の旋律を工夫する。 ・音階を表した教科書の図を参考にしな がら、リコーダーで即興的に旋律づく りをする。 ・お囃子の旋律と太鼓のリズムを組み合 わせて楽しむ。	・教科書の見開きを利用して、地域に伝わる祭り について話し合う。 ・演奏している資料や、実物を提示して意欲を高 める。 ・太鼓のリズムを唱歌で唱えてリズムをとらえさ せる。 ・それぞれの太鼓の音色や響きの違いを意識させ る。 ・全員が両方の太鼓を練習できるよう配慮する。 ◇(創) 和太鼓のリズムや音色の特徴を感じ取り、 それらを生かしながら音の響きやその組み合わせ を工夫し、どのように音楽をつくるかについ て発想を持っている。【練習時や演奏中の様子 の観察】 ・音階の音は「ミソラシレ」であることを確認す るとともに、終止音がラやミになるようにする。 ・何人かの旋律を太鼓のリズムに合わせて皆でリ コーダーで演奏して楽しむ。

2 ～ 3	○「ソーランぶし」をかけ声を入れて歌う。 ・範唱を聴き、歌の旋律や曲想を捉える。 ・「ソーランぶし」について簡単に理解する。 ・範唱に合わせ、かけ声を入れて、リズムにのって楽しく歌う。 ○前奏の部分を入れて歌う。 ・リコーダーで前奏の部分を実習する。 ・かけ声を入れて前奏を実習する。 ・前奏を入れて楽しく歌い合わせる。 ○和太鼓のリズムにのって「ソーランぶし」を歌い合わせる。 ・前時に練習したリズムに合わせて、歌い合わせて楽しむ。	・「ソーランぶし」が北海道民謡であることなどを簡単に説明する。 ・リズムにのって体を動かしながら歌う。 ◇（創）「ソーランぶし」のリズムや歌い方の特徴を生かした表現を工夫し、どのように演奏するか、自分の考えや願いを持っている。 【歌い方や体の動きの観察】 ・大太鼓と締太鼓を交替で行い、全員が両方をうてるように配慮する。 ・太鼓のリズムが歌と合うように音量や打ち方に注意する。 ◇（関）友達と楽しく歌唱表現やリズム表現する学習に進んでとりくもうとしている。【演奏の様子や表情・体の動きの観察】
-------------	---	---

【仮説2手立て②についての考察】

日本を代表する伝統芸能「歌舞伎」について、長唄や楽器を主に考えると、小中学校での日本民謡の発声やお囃子が関連してくること、舞台芸術という点でとらえるとミュージカルやオペラなどが関わってくること、それが小学校や中学校の何年生で扱われるか、が系統図の作成で理解できた。

また、「ソーラン節」についての小学校の実践を知ること、小学校での鑑賞や表現活動の経験が、中学校での学習に生かされていることを実感した。

7 成果（○）と課題（●）

【仮説1について】

○普段、触れる機会が少ない日本の伝統音楽に興味関心を持ち、特徴を感じ取りながら深く味わわせるには、「体験する」という活動を取り入れることが、非常に効果的であったと考える。生徒は、自分が実際に表現しようとした唄やリズムが、プロの演奏家によって表現されているのを聴いたり、観たりする時に、その部分の音や特徴が浮き彫りになり、印象深く耳に残ったり、表現の仕方の違いに気づいたりして、より深く音楽を味わうことができていた。ワークシートの感想からも「もっと観てみたい、聴いてみたい。」という思いを持つ生徒が増えていることが見てとれる。

●課題は、まず私たち教師自身が日本の伝統音楽への理解を深め、その魅力を深く味わう必要があるということであろう。今回は歌舞伎についての理解を私たち教師も、以前よりも深めることができた。さらに能や文楽について、まず自らが親しみ、教材研究を重ねることが大切であると感じた。

【仮説2について】

○小中学校の音楽科教師が合同で鑑賞教材のねらいや関連性を話し合い、考える中で、互いの校種で行っている指導について共通理解を持ったり、成長段階に応じたねらいの相違点を確認したりすることができた。特に中学校区別に鑑賞のワークシートを持ち寄り、実態についての話し合いを行ったことで、小学校の学習が中学校で生かされていることや、同じ教材であっても、中学校ではねらいが発展的になっていることなどが確認できた。

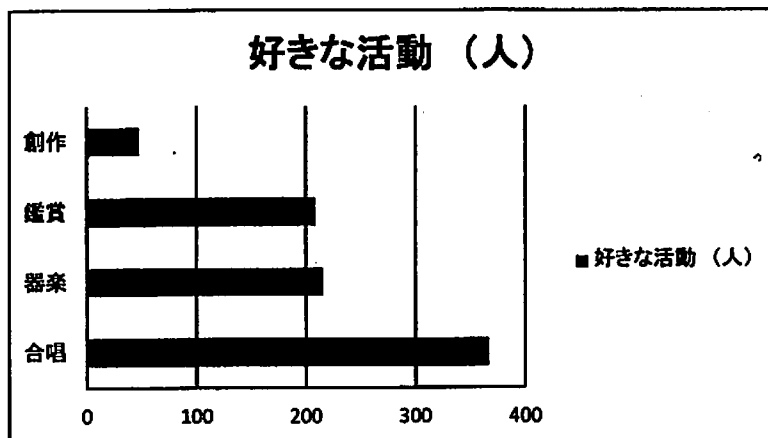
●教科書で扱っている鑑賞教材について系統図を作成したが、実際に年間計画の中でどのように取り上げているかは、学校によって違いがある。今後は、中学校区ごとに共通にとりくむ題材や系統立てて学習する教材を確認したり、関連性を意識してワークシートを作成したりするなど、連携を深められるとよい。

資料編

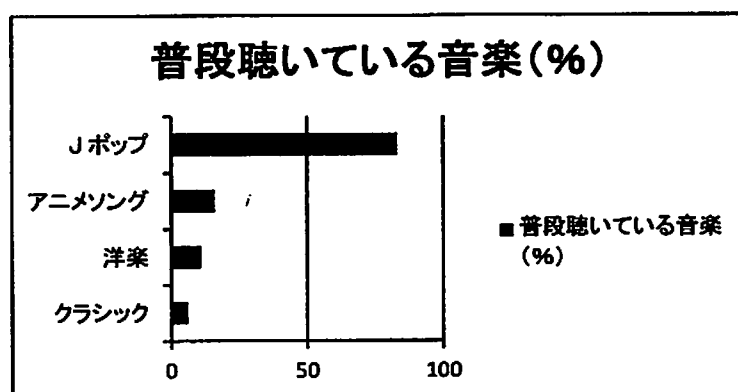
アンケート結果

<実態調査より> 平成28年実施、各校2年生抽出2クラス調査

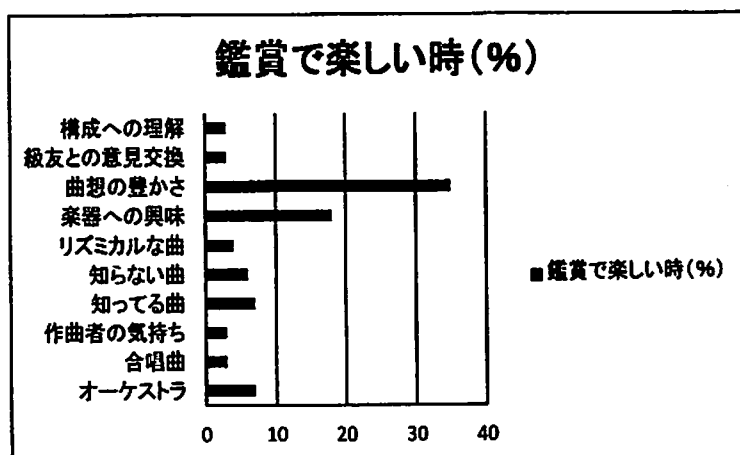
1 音楽の授業で好きな学習は？（複数回答あり）



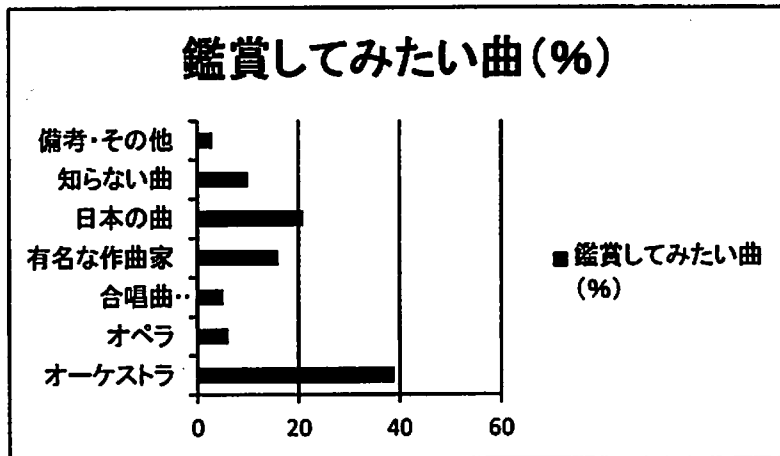
2 日頃、家で聴くことが多い音楽は？（記述式を分類した結果）



3 鑑賞の授業で、楽しい・興味深いと思うときは？（記述式を分類した結果）



4 これからの授業で鑑賞してみたいと思う曲は？（記述式を分類した結果）



5 小中学校の今までの鑑賞の授業で、印象に残っている曲

- ①「魔王」
- ②「運命」
- ③「小フーガ ト短調」
- ④「新世界」「剣の舞」
「エーデルワイス」（「サウンド オブ ミュージック」より）

音楽鑑賞 歌舞伎「勸進帳」

今日のめあて

長唄の特徴を生かして「勸進帳」を唄おう

詞章（歌詞）を読み、意味を確認しよう。



これやこの・・・これこそが、あの世間でいう、

行くも帰るも別れては・・・

都（京都）から東国へ下る（出て行く）人も、
都へ上る（帰って来る）人も、たとえここで別れてしまっても
知るも知らぬも・・・知っている人も知らない人も

逢坂（おうさか）の山かくす・・・

別れては逢い、逢っては別れる、
その名のような逢坂の関所なのだそうだ

↑百人一首（蟬丸）

長唄の特徴・・・のぼすときに音程が変わる。

グループで練習し、発表し合おう

↓グループで話し合い気をつける点を書き込もう！

氏名	姿勢	音程	太い声を出す。	のぼす。
	A	A	B	A
	A	B	B	A
自分（自己評価）	→ A	A	B	A

まとめ①・・・本日は長唄を唄ってみました、いかがでしたか？感想をまとめよう。

太い声で高い音や低い音を出すのは難しかったです。

地声なので音を合わせるのも難しく、少し歌いづらかったです。

まとめ②・・・最後にもう一度DVDを視聴した感想を書いて下さい。

よくこんな大変で、太い声を出さるなと思いました。

三味線なといふおなじリズムのくり返しなので入るタイミングなど
難しいところだなと思いました。

2年 組 番氏名

長唄の授業での感想 (旭中学校)

まとめ①・・・今日は長唄を唄ってみました、いかがでしたか？感想をまとめよう。

リズムが一定じゃないところ、音程や声の出方が、どのうとは違、
難しかったです。

まとめ②・・・最後にもう一度DVDを視聴した感想を書いて下さい。

①とはちがえ、三味線だけでなく、太鼓や笛なども音が入っていて、
リズムがよくわかった。自分が歌った後にもう一度聞くと、音がしかり
入ってくる。

まとめ①・・・今日は長唄を唄ってみました、いかがでしたか？感想をまとめよう。

声が高いし、長く伸ばさなさいいけない、難しかった。

少し歌えるようになると楽しい。

まとめ②・・・最後にもう一度DVDを視聴した感想を書いて下さい。

やはり何を言っているのかわからなかった。

色々な楽器が入って、やはり、長唄とマッチしていて、とてもいいなと思った。
唄
訳を見ながら聴くと楽しくできそう。

まとめ・・・今日は長唄を唄ってみました、いかがでしたか？感想をまとめよう。

① 普段の声の出方と全くちがったので

声が出しずかった、難しかった。

まとめ② 最後にもう一度DVDを視聴した感想
前回より声の出方がつかった。うまく歌えた。

テレビの自分が歌ったところだけ、違ってきた。

初めて聞いたときと感じ方が変わった。

思った以上に難しかったです。

2/9

発表はみんな上手で驚きました。

息づきのところがうまくできてない...

～DVDを見～

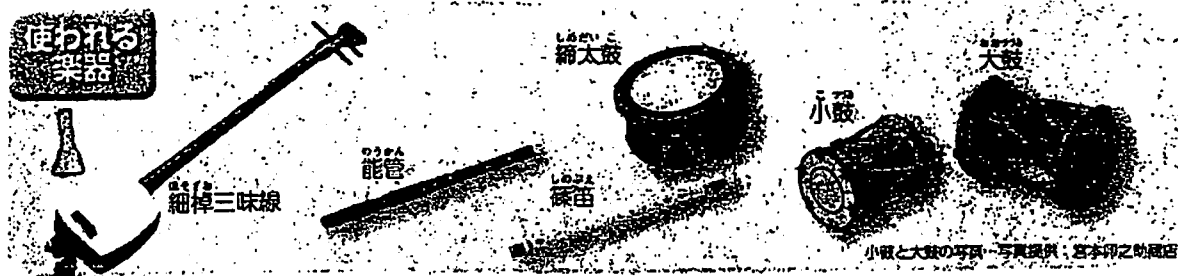
自分も練習したので、聞いていると
たんと近く身近に感じました。

歌舞伎のこと知らなかったけれど、理解できました！

音楽プリント **歌舞伎** お囃子を体験しよう

2年 組 番氏名

- 1 歌舞伎「勅進帳」に使われる楽器の音色を聴いて、特徴や感想を書きましょう。



楽器名	特徴や感想
しまみせん 三味線	とてもゆたいていて 特徴的な音が出ている
のうかん 能管	篠 笛の ような音色だったが、音をわざと割って工夫している
こつひみ 小鼓	「ポン」という軽い音でよく <u>響音</u> している
おおつひみ 大鼓 (おおかわ)	「カ」というかためのかきで かけ声は太力な

*締太鼓と篠笛は「勅進帳」では使われませんが、他の演目で使われることがあります。

- 2 打楽器とかけ声で囃子を体験してみよう。

音の高さの違いを生かして、鼓の音色に近いたたき方を工夫しよう。

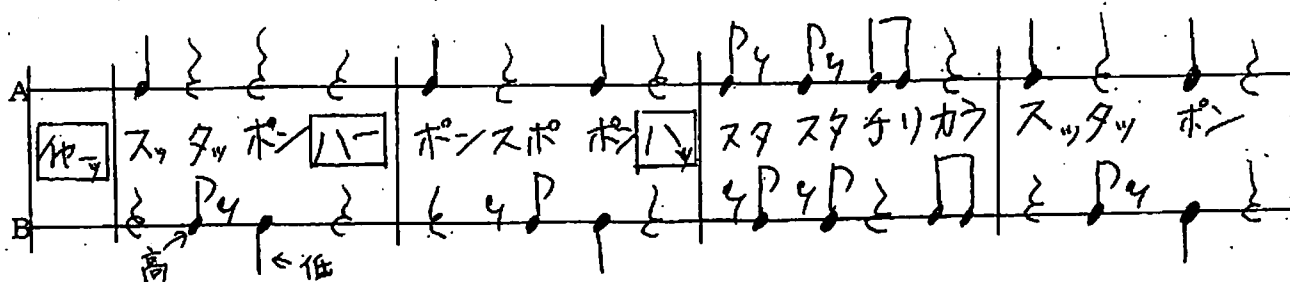
- A 大鼓 役 高い音を使う

左わきに構えて右手で打つ。

- B 小鼓 役 低めの音（できれば二種類の低めの音）を使う

左手で持ち、右肩に構えて右手でかけ声とともに打つ。

かけ声や唱歌（スッ・タッ・ポンなど）は、両パート一緒に行います。



- 3 体験してみた感想を書きましょう。

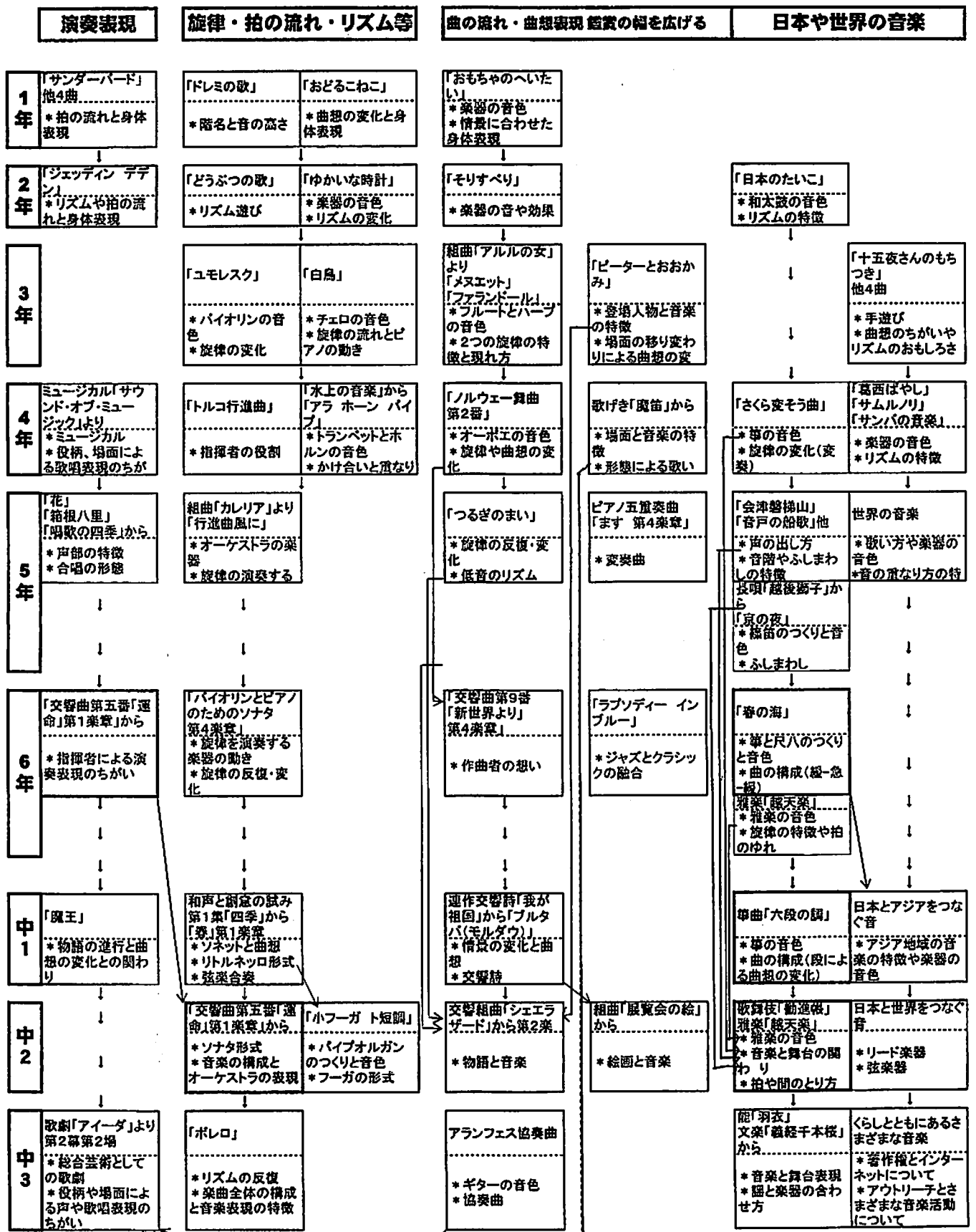
とても楽しかった、和楽器についてよく知らなかった

けれど、よく分かった。リズムを唱歌にするとても

分かりやすくなつた。また歌舞伎がいかに

使われているのか調べてみたくなった。

小中学校鑑賞教材系統図



宮城道雄作曲

・第七八の二重奏曲。

- ・2つの楽器が対等な位置関係。

(緩急一緩)

A……春のどかば 海にや ゆるやかな 波の動かし かもめの声などを

表しに 鳴やかた音楽

B……陽氣正丹歌と春霞はるのけしきののどがエ巧みに配^はりまぜて急速な音楽。

・第_ニ尺ハ、音色を味わばう。

- 事E人ハのHに、变化Eきとう。

8) 2つの楽器の対話しなやかさが融合してつくりだす 日本的な音楽の美しさを味わおう。

~~の海に波がぶつて、山の上には、さうだ。た。
まゝと君八が春の空を飛びこして。~~

かしちからに1人かゝりて、日本の音楽(樂器)カ、四重であらわすことには、
 したような対話をしてゐた。こゝに、及ハがよりいふ、強弱をさす所は、
 自して、こゝに、野が、つゝ、こゝに、こゝに、こゝに、こゝに、こゝに、こゝに、
 然、の、つ、わ、り、と、感、じ、た、こゝに、弱、く、な、い、り、ま、こゝに、こゝに、こゝに、こゝに、
 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、
 不、の、音、を、た、た、く、た、た、く、た、た、く、た、た、く、た、た、く、た、た、く、た、た、く、た、た、く、
 かゝりてゐた。日本の音楽(樂器)は、不、の、音、が、し、た。

感想
何回聞いてもあきない曲だと思ひました。
最初に聞いた時から、こゝろがきいかな音だ、た。アハ
も強弱が、ついでに表現が増えよかつた。Bのところでは、
全体的にテンポが遅くなリヨリかまめとこゝろがよかつた。
Aのところは、何度か聞て、フリンの題名だと知るかとがて
きてよかつた。ことで表現しづゝ「強弱」を戸して表してい
て、相違うのよい楽器と云ふことも聞きやすかつたです。おちつ
いたかいんさが曲自体になつて、さうして開いて、いりるとがらつ
きさといふ曲だと思ひました。(6)

[illegible]

ニハ、短スレズバガダク、又ハハ、長スレズバガダク。

こゝに尺八は、強弱が~~出~~しや可いため表現がゆたか。

また、始めは静けさから始まり、途中から春を感じられ
るような「ス」が入った。

この者の余音が、いっそう尺八を極めたにせているように感じた。曲の浮きすぎみがほげして、野なげエとな
せんリッつを吹いて、かいてゐるのに全然違つて

開文

日本の伝統的な楽器

～小学校～

春の海

6年

① かんじょうのまね ② いちばん強く感じたことや心に残ったことを書こう。

寒か、な冬も終わって、春になって、あたたかくな、て人々がよろこんでいるかの、ように高い音で、した(B)。③ 海の波が静かな様子表しているよ、でした(A)。この曲を作曲した人は、すごいな、と思いました。

⑥

① かんじょうのまね ② いちばん強く感じたことや心に残ったことを書こう。

ことをはじく音と、尺八の優しい音色がリズムにのりながら音が重なり合うときが良く、一番印象に残った。

・や、やはり最初のリズムも、CMかなんかで聞いたことある。

5年

曲名 長唄越後獅子	気づいたことや感じたこと 5月15日
作曲家 九世 村屋六左衛門	しの笛が思った以上に音が高く、サビに似てゐるな、と思った。お祭りとかで聞いたことあるような音で、歌と笛と三味線がいい音色を奏でていてとてもきれいだ。たし、しの笛が歌を支えている感じが、いいな、と思った。
主な楽器・演奏の形	しの笛

春の海

6年 4組 氏名

1. 作曲者 宮城 道雄 (1894 ~ 1956)

2. 尺八について

- ① 何でできていますか。 竹
- ② 穴の数 前4個 後1個 計5個
- ③ どのような音色でしょう。 高くリコーダーみたいな音色

3. ことについて

- ① 何でできていますか。 きのこ (きりぎりすの皮)
- ② げんの本数は何本でしょう。 13本
- ③ げんをささえるものを (柱) といいます。
- ④ げんをはじくものを (つめ) といいます
- ⑤ どのような音色でしょう。 気持ちがおちつくきれいな音色

4. 曲の持ちようについて答えましょう

☆この曲は大きく分けると (3) つの部分に分かれています。それぞれにどんな持ちようがありますか。

キーワード・速度・かけ合い

A・はじめの部分

速度がはやくなるとリズムがはやくない
速度がおそくなるとリズムがゆっくりになる

B・中の部分

ことが問いかけられて、尺八が答えているところもある
は尺八が問いかけていて、ぶとが答えているところもある

A・終わりの部分

はじめの部分にもどった。同じ。

A-B-A形式

5. 冬休み中にこの曲をきいたおおよその回数を書きましょう。

日本の伝統的楽器
～小唄～

音楽鑑賞 箏曲「六段の調」^{いっぺ} 作曲家(八橋 権松) ^{そう}

本日のめあて

楽曲全体の構成を理解して、箏(そう・こと)の表現を味わって聴こう。
箏の音色(ねいろ・おんしょく)や使われている音階、速度の変化などを聴き取ろう。

あなたはこれまでに「お琴」を弾いたことが ある ない

箏を目の前で見ても、思ったこと きれいで、上の方にある音がきれいで、
木目もきれいでいい

教科書P. 58, 59 見ながら「さくらさくら」の始めの部分を弾いてみましょう。

弾いた感想

つめでひいた方が音が響いてきれいで楽しかった。
山田流の方がつめでの音もきいてみたくていいと思った。

箏(そう・こと)には右手で弾くだけでなく、左手を用いて音の高さや余韻を変化させる奏法があります。その音色や余韻を実際に弾いて味わってみましょう。

奏法	左手でどのようにするか	記号	実際に弾いてみて感じ取ったことをまとめよう
引き色 	左手で弦をつまんで往(じ)の方に引き、音高をわずかに(下)げること。	ヒ	あまり変わらない気がした。でも少し変わっていて面白かった。
後押し 	右手で弾いた後に、左手で弦を押して余韻の音高を(上)げること(弾いてから押す)。	オ	ひびくという感じが、おもしろかった。
押し手 	左手で弦を押して、音高を(上)げること(押してから弾く)。	オ	✓ という感じ。

(山田)流

おんこ座ろ

声に近い音

(生田)流

楽譜漢字

おんこ座ろ
照理の音

箏曲「六段の調」を鑑賞して、段ごと、または全体を通して感じ取ったことや気づいたことなどについてまとめよう。

段	速度の変化	感じ取ったことや気づいたことなど
初段	ゆ、くり	一フ一フの音がきれいで、全体を通して
一段		たくさんある奏法が
二段	少し速い	つめて、弦もこする音が、
三段	ふきより少し速い	はい、きれいな音が、
四段	速め	低い音が、
五段	速い	中からは高い音が、
六段	速い	最後は、

毎日でよう!!

箏曲「六段の調」を鑑賞して、魅力的だと思ったことをみんなに紹介する文章を書いてみよう。

この曲は、初段から大段と、つにわかれており、速さの
変化が面白い。また、「引き色」や「後押し」、「押し手」、
その他にも、つめでこする音、きれいな奏法が
たくさんあり、聞きごたえがあります。高い音が使われて
いたり、低い音が使われていたりして、聞いていて楽しい
です。

1年 2組 番氏名

日本の伝統的な楽器～中学校～

音楽鑑賞 箏曲「六段の調」

作曲家(ハ橋 検校

箏曲「六段の調」を鑑賞して、段ごと、または全体を通して感じ取ったことや気づいたことなどについてまとめよう。

本日のめあて

楽曲全体の構成を理解して、箏(そう・こと)の表現を味わって聴こう。
箏の音色(ねいろ・おんしょく)や使われている音階、速度の変化などを聴き取ろう。

あなたはこれまでに「お琴」を弾いたことが ☒ ある ☐ ない

箏を目の前で見て
思ったこと

大きい
長い



教科書P. 58, 59 見ながら「さくらさくら」の始めの部分を弾いてみましょう。

弾いた感想

親指がいたかった。(つめはめてなかったから)
教習の楽譜だったから、難しかった。

最後速度が速くなった。
最後まで速まってる。

やさしく、全然かわい!

段	速度の変化	感じ取ったことや気づいたことなど
初段	緩やか	ゆっくり
一段		
二段	初段と比べて速くなった。	後押しの余韻の音がひびいてきれいだった。やさしくなる
三段	二段よりも速くなった。	カーラリンがきれいだった。いんじんげやくなる
四段	三段と比べて速くなった。	半端にひいてる所がきれいだった。いんじんげやくなる
五段	四段と比べて速くなった。	音高が上がる所がきれいだった。いんじんげやくなる
六段	緩まった。	はやかたけど、けど最後は緩まった。

全体を通して
最初は、緩やかで段ごとにしたいに
はやくなって、最後
の部分は速度が
緩まった。

(11)

箏(そう・こと)には右手で弾くだけでなく、左手を用いて音の高さや余韻を変化させる奏法があります。その音色や余韻を実際に弾いて味わってみましょう。

奏法	左手でどのようにするか	記号	実際に弾いてみて感じ取ったことをまとめよう
引き色 五	左手で弦をつまんで柱(じ)の方に引き、音高をわずかに(下)げること。	ヒ	弦をつまんでひくのはかんかくをうかむ感じがむずかしかった。
後押し 四	右手で弾いた後に、左手で弦を押して余韻の音高を(上)げること(弾いてから押す)。	オ	弦をおすのは、引き色に比べてかんたんだった。
押し手 ハ	左手で弦を押して、音高を(上)げること(押してから弾く)。	オ	後押しと似てて、かんかくをすぐつかぬた。



(山田)流
→ おす座る
音に近い



(生田)流
→ 楽譜 漢字
→ ななめに座る
器楽的

伝えよう!! 箏曲「六段の調」を鑑賞して、魅力的だと思ったことをみんなに紹介する文章を書いてみよう。

「六段の調」は、ハ橋 検校さんが作曲した曲です。
全部で六つの段に分かれていて、初段を除く各段は
同じ拍数からできています。私は、実際に琴をひいた時、引き色や押し手は上手くできなかったけど、この曲にもその2つが入っており、とてもきれいな音色を奏でていました。
緩やかな速さではじまり、次だいに速度がはやり最後は緩めて終わります。速度の変化や全体の構成に耳をかたむけて聴いてみて下さい。

1年2組 番氏名

日本の伝統的な楽器 ~ 中学校へ

交響曲第5番

「運命」

第1楽章から（ベートーベン作曲）

めあて 演奏による表現のちがいをきき取る
 ～同じ曲でも、指揮や演奏の仕方によって感じが変わるね。
 速度や強弱など、ちがいの理由を見つけよう。

	感じたこと・気づいたこと
ヘルフ ベオル ン ト・ヤ ン	少し速かったです。最初から最後まで、 ①低音の音がよく聞こえました。→は、か、か す、か、た、で、す。 速い→②初→③後
お小 ぎ澤 わ せ征 い じ開	カラヤンに比べて、落ちついていま した。→日本人にかなない落ちつきを (タタイ) たしたかったのかな？と思います。
カ ー ル ベ ー ム	最初の1フレーズが少しゆっくりでした。 少しはすみがありのなしかが多いです。 終わりに近 あ くと速くなっていた感じが します。→最後のしめを、しっかりとさせたのかな？ と思いました。

感想

バースタイン
 強弱がとても、はっきりとしていました。
 バイオリンの音色も、はっきりと聞こえ
 ました。



交響曲第5番「運命」

6年 組 番 氏名

- 曲名
交響曲第5番 ハ短調「運命」
- 作曲者
ベートーベン
- いろいろな「運命」を、聞き比べてみましょう。
 (1) 指揮者 カール・ベーム ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団
 あり、激しく、な、ようにきこえる
 (2) 指揮者 カルロス・クライバー ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団
 最初音がすごく激しい
 (3) 指揮者 ヴィルヘルム・フルトヴェングラー ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団
 17の音が、長く、ゆ、たり開、きこえる
 3. 同じ楽譜を見て演奏している、様々な演奏を聴いて、どう思いましたか。
 指揮によって、激しかったり、ゆったり開、きこえる。
 4. 1楽章を通して聞いてみての感想を書きましょう。
 ・ ベートーベンは耳の病気に悩まされ、激しい→おだやかな
 断、運命を作曲したのかな？と思います。
 ・ 短調→長調とくり返している

ベートーベンは28歳の頃から、音楽家として一番大切な耳の病気に悩まされていて、大変苦しみました。その苦しみをのりこえて、素晴らしい作品をつくりました。
 「運命」は、1808年に作曲されました。この曲は、「ソナタタターン」という激しいせりりつで始まります。このせりりつが、第1楽章だけで280回近くも使われます。ベートーベンは、このせりりつのことを「運命はこのような戸をたたく」と説明した、といわれています。

この交響曲全体で、運命と戦う人間を力強く表現しています。

大/清田 大/立田ノバと/調ノバ/チカ/文ノ

6年 鑑賞 交響曲第5番 「運命」 第1楽章

1. 作曲者 . . . ~~ベートーヴェン~~

作曲者について知~~っ~~ていること

ドイツの作曲家。フリーセのためになど...

2. 曲を聴いて比べ、~~違い~~をまとめよう。

思ったこと	曲の速さ	音の伸ばし方 曲の間	このオーケストラの特徴
1 曲目	速い	間が少ない。	・はく力がとてもある。 はずんでいる。
2 曲目	1曲目より おそい	間が多い。 長い	・強弱があり、曲の感じ がかわる。
3 曲目	速い	間が少ない！ (1曲目と同じ…)	はく力があり、1曲目と同じ 感じ、フィナーレとを感じる

3. 指揮者になつて運命を振ってみよう

交響曲第5番「運命」1楽章は(2)拍子です。

曲に合わせて気持ちよく指揮ができれば () に○を書きましょう。(9)

4. ベートーベンの運命を聞き比べて感じたことや交響曲の良さなど気付いたことを書きましょう。

しき者によつて音色、中間音をのぼす時間かちがうことがわ
かた。指揮者は身ぶり、演奏者にのぼしてとねしむを
いかにしなせ、から、とても大切だと感じた。
おもひて、身ぶり、みんぱい、いかにと伝えられる。
しき者にきかせたい。

換算率の指示はとも大いである。

かんは、て いろいろ工夫してみても下りい。



③ この曲をきいて、感じたことをノートにまとめましょう。

① カラヤン
② ベーム
③ ショリーニ

きいた日： 6月21日

かんしょうノート

曲名	交響曲第5番 運命 第1楽章から		
作曲者	ベートーヴェン	演奏の形	オーケストラ
1番好きな演奏	(③) 番目の演奏		
感じたこと	① とてもはく力があって強いイメージだった ② ①よりもやさしい感じだった、音がいきなり大きくなったりした ③ やさしい感じになったり強い感じになっていたりした		

おさね やさしい感じで ~~小さな~~ なったりしていてよかった。
 せいじ 毎にゆっくりになたりしていた

交響曲第5番 八短調
～小学校～

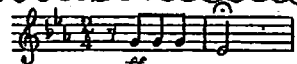
鑑賞 ベートーヴェン

交響曲第5番ハ短調 作品67

2年 1組 番氏名

1 第1楽章の二つの主題を聴き、それぞれの特徴を書いてみよう。

第1主題 ハ短調 Allegro con brio (速く、生き生きと)



ff

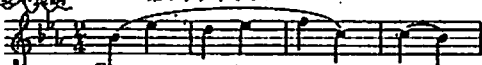
クラリネット、弦合奏

(怖い感じ、音が低い、重い感じ)

第2主題

ホルン

第1ヴァイオリン



p dolce (やわらかに)

(華やかな感じ、なめらかに流れる感じ)

2 ①ソナタ形式!

A(提示)部 対照的な二つの主題が提示される

B(展開)部 主題が発展していく

A'(再現)部 主題が再び現れる

②作曲者の(ベートーヴェン)は古典派からロマン派への橋渡しの役割を果たした。彼は(耳)の病に悩まされたが、それを乗り越えて作曲を続けた。

3 1楽章を聴いた感想を書こう。

- ・管弦楽の響きを味わおう
- ・主題の繰り返しや変化を聴き取ろう
- ・作曲者の思いを感じ取ろう

弦楽器は低い音や高い音はくりくのある音や弱い音
なめらかな音や生き生きとした、たくさん音がでて、また
響きもすごいなと思いました。主題の繰り返しは1回1回
で音の強いところや響き方がちがっていて、受けとる印
象も違って、同じリズムなのにすごいと思いました。
作曲者は、運命を強く、また幸せな感じを表現した
かったのかなと思いました。



フルタバ→交響詩

①

鑑賞 ベートーヴェン

交響曲第5番ハ短調 作品67

「運命」だ!!

2年 3組 7番氏名

1 第1楽章の二つの主題を聴き、それぞれの特徴を書いてみよう。

第1主題 ハ短調 Allegro con brio (速く、生き生きと)



ff

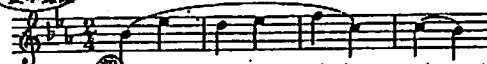
クラリネット、弦合奏

(暗い、迫力がある、強い、勢いがある、響きがある) 激しい、楽器

第2主題

ホルン

第1ヴァイオリン



p dolce (やわらかに)

正反対

(優しい、穏やか、やわらかい、落ち着く、なめらか)

2 ①ソナタ形式

A(提示)部 対照的な二つの主題が提示される

B(展開)部 主題が発展していく

A'(再現)部 主題が再び現れる

②作曲者の(ベートーヴェン)は古典派からロマン派への橋渡しの役割を果たした。彼は(耳)の病に悩まされたが、それを乗り越えて作曲を続けた。

3 1楽章を聴いた感想を書こう。

- ・管弦楽の響きを味わおう
- ・主題の繰り返しや変化を聴き取ろう
- ・作曲者の思いを感じ取ろう

第一主題からは悲しみをすごく感じた。

指揮者それぞれの感じ方で、音楽の雰囲気や変化するところが
人の感情を表しているようなこの曲にピッタリだなと思った。

弦楽器それぞれの響きが重なって合っている、すごく深みのある
響きになったなと思った。



交響曲第5番ハ短調

中学校

勸進帳の授業への有効な働きかけを行うための指導系統表

	楽器の音色	歌 唄	音楽と舞台との関わり
4 年	⑧ 「さくら変奏曲」 * 箏の音色 * 旋律の変化 ⑨ 「ソーラン節」 * 和太鼓・締太鼓の音色（合奏）	⑩ 「ソーラン節」 * 民謡の声の出し方	⑪ 「サウンド・オブ・ミュージック」 * ミュージカル * 役柄、場面による 唱表現のちがい ⑫ 歌劇「魔笛」 * 場面と音楽の特徴
5 年	⑬ 「越後獅子」 * 篠笛のつくりと音色	⑭ 「こきりこ節」 * 民謡の声の出し方 ⑮ 「会津磐梯山」他 * 声の出し方 * 音階やふしまわし の特徴 ⑯ 長唄「越後獅子」 * 長唄の声の出し方 ふしまわしの特徴	
6 年		⑰ 「越天楽今様」 * 声の出し方 * 旋律の特徴や拍の 揺れ	
中 1	⑱ 「六段の調」 * 箏の表現 音階や速度の変化		
中 2	⑲ 雅楽 * 管弦（竜笛、篳篥、笙、楽箏、楽琵琶、鉦鼓、釣太鼓、羯鼓）	⑳ 歌舞伎「勸進帳」 * 歌舞伎の音楽の特徴 * 音楽と舞台の関わり	
中 3	㉑ 能「羽衣」 * 謡、囃子（太鼓、大鼓、小鼓、笛） ㉒ 文楽「義経千本桜」 * 太夫、三味線		㉓ 「アイーダ」 * 各登場人物やオーケストラの表現 * 音楽と他の芸術との関わり